

安心の語数と「重点詳説」方式

- ◆収録語数4万1千。教科書載録作品や主要古典から精選。授業にも大学入試にも安心の語彙数。
- ◆助詞・助動詞は、意味・訳語・用例をまとめた、すつきり頭に入る表形式で解説。
- ◆最重要語の用例には、すべて現代語訳を付す。
- ◆主要古典の用例には、音便・係結び・敬語・副詞の呼応・疑問語との呼応・語構成など、訳出のキーワードとなる部分を〈ポイント・ラベル〉で明示。解説や参照語を示す。
- ◆連語の語構成はわかりやすく囲みで明示。
- ◆最重要語には、語の全体像を容易に把握できる「アプローチ」欄。
- ◆豊富なコラム「古語深耕」「古典の世界」。
- ◆ワンランク上の学力がつく「発展学習ファイル」欄。
- ◆物もその使われ方も一目でわかる大型図版を、絵巻物に基づき多数掲載。

収録語数は、学習古語辞典最大クラスの4万1千語。
重点詳説主義の学習古語辞典。
最重要語の用例はすべて現代語訳付き。

三省堂

詳説

古語辞典

秋山 虔
渡辺 実

編



**小型版
新登場!**

内容は普通版と同じになります。

【小型版】

A6変形判・1,514ページ・2色刷
(内カラー別丁8ページ)

定価(本体 2,400円+税)

【普通版】

B6判・1,514ページ・2色刷
(内カラー別丁8ページ)

定価(本体 2,700円+税)



書評より

本格派古語辞典の小型版が誕生した。四万二千項目は同型で最大。古語だけに、多くの読者には未知の世界だ。国語辞典に載るものでも、古語辞典ではひととき印象度が高い。楽し屋(裕福な家)、がうな(甲殻類のヤドカリ)。「野道」は、京都・丹波口から島原への道でもあるとは、知らない人には相当なおどろき。「すさぶ」は勢いのおもむくまま事をなすが原義。「すさぶ」と「すさむ」のちがいは「古語深耕」欄で詳説。「わざと」は、意識しての意味だが、「わざと」となると「わざとの学問」のように、正式なことをいう。かくして日本語の原郷の多彩な風景が展開。どのように変化したか。ことばの道筋も見えてくる。百人一首を含めた名歌と、名句も見出し項目で登場し、現代語訳が付く。手のひらサイズなので、開きやすい。実際に読むことが、いちばん楽しいことなのだ。それがこの辞典の「意義」だろう。この機会に、古語の基本像を手にした。(抄)

【毎日新聞】二〇一七年九月三日掲載

◎本社 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎ 03-3230-9411(編集)・9412(営業)
◎大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎ 06-6341-2177
◎名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F ☎ 052-953-9211
◎九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎ 092-531-1531
◎札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15丁目2-1 ラスコム15ビル3F ☎ 011-616-8722

三省堂

三省堂

